

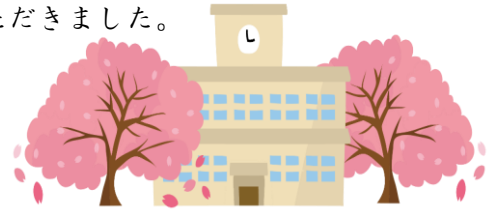


## 「大善賞を贈呈しました」

オオスナグループでは本店・支店のある5つの事業所と隣接する小学校等、合計6校の小学校に寄付をさせていただきました。

先回りをして魚を与えるのではなく、少くはひもじい思いをさせても魚のとり方を教えることで、将来自立できる人に育って欲しい、心身が強い人間になって欲しいと願い、スポーツ用品の購入に役立てていただけるよう寄付をさせていただきました。来年も『大善賞』が贈呈できるよう頑張ります。

株式会社アシスト 代表取締役 大砂 彰



## アシストスタッフのよるこびの声

先日、育児休業中のスタッフのEさんが、かわいい赤ちゃんとお遊びに来て下さいました！  
Eさんは出産前の昨年夏まで製造業の検品や梱包業務で勤務していただき、その後、無事に目鼻パッチリのかわいい男の子を出産されました。今は子育てに奮闘されています。

アシストは産休育休制度の推進など、女性のライフスタイルの変化に応じた働き方を親身になってサポートしています。そのような姿勢が評価され、優良派遣事業者認定を今回も更新することができました。

これからもスタッフひとり一人を大切にしていきたいと思えます。

かわいい赤ちゃんに元気をいっぱいもらいました！  
Eさん、ありがとうございました♪  
また遊びに来て下さいね！



加東営業所 澤井哲郎

## アシストーク

姫路営業所に配属となり、6ヶ月が過ぎました。営業所がある網干周辺の町にも少しずつ親しみを感じてきています。

先日の土曜日、朝早く相生に向かってしていると御津町の室津で朝市の看板を見かけました。

仕事の合間に立ち寄ってみると、生きた魚介類が水槽に放たれ、お客さんは新鮮な魚を嬉しそうに購入されていました。

(魚は地元の主婦が無料で捌いて下さいます)  
なんだかワクワクしてしまい、私もシャコとワタリガニを購入し、夕食に美味しくいただきました。地元にはたくさん良いところがありますね。少しずつ知りたいと思います。



姫路営業所 段林 信

## 編集部便り

## イチロー選手の引退会見から学ぶ生き方

「自分なりに測りを使いながら、限界をちょっと超えることを繰り返す。いつの日かこんな自分になっているんだという状態。少しずつの積み重ねでしか自分を超えていけない。

一気に高みに行こうとすると、ギャップがありすぎて続けていけない。地道に進むしかない。あるときは、後退しかない時期もある。自分がやると決めたことを信じてやっていく。でも、それが正解とは限らない。間違いを続けることもある。でも、遠回りすることでしか本当の自分に出会えない。」

(引退会見の言葉より抜粋)

イチロー選手のように、「自分なりに頑張ったとはっきり言える」人生となるように、一日一日を大切に、感謝の気持ちを持って過ごしていきたいと思えます。

編集者 大部 小百合